

わんにゃん
よろこぶ

学んで楽しい しつけ方講座



わんちゃんもねこちゃんも「人間と共生するためのルール」を覚えることで、家族の一員としてストレスなくハッピーに暮らしやすくなります。そこで、飼主さんがわんちゃん、ねこちゃんに必要なルールを上手に教えてあげing方法を、京都中央動物病院の「しつけ方教室」で講師を担当されている、獣医師・春日部美穂先生に教えていただきました。



京都中央動物病院
しつけ方教室 講師
獣医師
春日部美穂先生



なときや隠れた場所で余計に排泄する事になりかねません。
トイレシートで排泄することをしつけるには、犬の様子をよく観察して、トイレ観察ノート（寝起き、食後、飲水後、運動後などの排泄するタイミング

A. 犬がトイレシート以外の場所で粗相する理由は、頻尿になる病気、関節の病気、認知機能障害、恐怖など多岐にわたります。まずは動物病院に病気の除外を含めてご相談いただきたいです。一方、子犬の場合の多くは、トイレシートで排泄しなければならぬ、というルールを完全に覚えていないからだと考えられます。全ての月齢にいいことですが、厳しく叱りつけても犬には叱られた理由が分からず、逆に排泄すると怒られると勘違いしてしまい、家族の見ていないときや隠れた場所で余計に排泄する事になりかねません。

Q. 犬がトイレシート以外の場所
所で粗相をします。その度に
叱るのですが直りません。トイレ
シートで排泄させるにはどうすれ
ばいいでしょうか？



現在、しつけ方の主流となっているモチベーショントレーニングとは、飼い主にとって望ましい行動を犬ができれば、ごほうびを与えて褒めることを、上手くしつけに活かす方法です。家庭でも実践できるので、犬の行動学に詳しい獣医師やドッグトレーナーに相談してみてください。



「トイレトレーニング」をやり直してみよう。
根気よく繰り返すことで犬にトイレシート（イコール）トイレの場所と覚えさせることができます。トレーニングの方法として、上手にできたら褒めてごほうびを与えるモチベーショントレーニングがお勧めです。
や、くるくる回る、そわそわする、床のにおいを嗅ぐなどの排泄の兆しを知る）の作成や、失敗しない環境作りを整え、排泄の兆しが現れたらトイレシートへ誘導する

わんちゃん・ねこちゃんの 目の病気が増えています!



画像提供・京都中央動物病院

紫外線や大気中の汚染物質の増加、パソコンやスマホによる刺激など、いろいろな要因により、現代人は目の不調に悩まされています。そんな人間と一緒に暮らすわんちゃん、ねこちゃんもストレスの多い日常生活の中で白内障や緑内障、ドライアイ、結膜角膜障害、遺伝的網膜疾患、糖尿病や腎臓病など全身疾患からくる目の病気など、さまざまな病気が増加しています。わんちゃん、ねこちゃんが健康な目で生活するためには、目の病気を早期発見し治療をはじめることが大切です。

わんちゃん、ねこちゃんが健康な目で暮らせるように 年に一度は受けてたい アイ(Eye)眼ドッグ!

わんちゃん、ねこちゃん目を健やかに保つには、病気を治すことはもちろんですが、病気を早期発見し治療をはじめることが大切です。今回、お話を伺った京都中央動物病院では、眼科精密検査“アイ(Eye)眼ドッグ”を実施しています。わんちゃん、ねこちゃんが健康な目でいきいきとした毎日を過ごせるように年に1~2回の“アイ(Eye)眼ドッグ”の受診がおすすめです。



アイ(Eye)眼ドッグの流れ	1 シルマーティアテスト(STT)	涙量の検査。ドライアイなどの診断
	2 フルオレイン染色	角膜に傷がないか検査。角膜潰瘍などの診断
	3 トノベット	眼圧の検査。緑内障やぶどう膜炎などの診断
	4 スリットランプ	角膜から水晶体までを観察。角膜疾患、前眼房の疾患、白内障などの診断
	5 クリアビュー	眼底を観察し写真として保存。網膜変性、網膜剥離などを診断
	6 眼エコー	眼内の様子を観察。網膜剥離、眼内腫瘍などを診断
	7 血圧測定	眼病変と高血圧の関連性を検査



(お問い合わせ)
京都中央動物病院

電話・FAX **075-821-1020**
京都市下京区柿本町582-3

アイ(Eye)眼ドッグは
完全予約制

次号より
新連載
スタート!

わんにやブルな健康最前線

わんちゃん、ねこちゃんの病気やケガ、生活習慣など悩みや疑問にお答えして、わんちゃん、ねこちゃんが健康に暮らすための最新情報をお届けする連載企画がはじまります! 乞うご期待!

